長野県軽井沢町議会

議会だより

No.106

軽井沢町青少年柔道大会

未来のオリンピック選手を目指して

軽井沢
KARUIZAWA

平成27年3・4月会議

完成した風越公園スポーツエリア 2-3p
平成27年度予算審査 4-7p
代表・一般質問 8-15p
委員会報告 16-17p

の施設!!

風越公園 スポーツエリア

皆様のご利用をお待ちしております

この春のグラウンド人工芝化完成で、一連の風越公園スポーツ施設の整備を終えました。この公園の役割は、スポーツを通して子どもたちの教育促進と町民の体力維持、そしてスポーツMICE※(マイス)にあります。整備以来、総合体育館やスカップ等、大変に多くの皆様に利用をいただいています。これからもさらに使いやすい施設運営に努めてまいります。また、ピョンチャンや東京オリンピック・パラリンピックでの練習会場としても利用いただくべく働きかけてまいります。

町長　藤巻　進

＊スポーツMICE＝（スポーツによる集客）

グラウンド

人工芝化され、リニューアルオープン。早速、フットサル大会が 30 チーム（中部圏）参加で開催されました。

スケートリンク

ジャパンカップも開催され、年々利用者も増えています。
平成 26 年度利用者 14,660 人　前年対比 117.33%

カーリングホール

ナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点施設に指定されました。海外からの合宿にも利用されています。
平成 26 年度利用者 37,752 人　前年対比 117.97%

活かそうこれら

アイスアリーナ

通年営業となり、アイスホッケー・フィギュアスケート等非常に高い稼働率です。
平成 26 年度利用者 58,668 人　前年対比 106.14%

総合体育館

バレーボールの等国際規格の大会も開催が可能。災害時には避難所として利用でき、備蓄庫も完備しています。
平成 26 年 7 月オープン　利用者 62,905 人

スカップ軽井沢

通年利用できるプールとトレーニングルームを併設した施設で、トレーニングルームは朝夕行列ができる人気スポットです。
平成 26 年度利用者 プール 40,848 人 トレーニングルーム 20,536 人

テニスコート

人工芝コートが 14 面あり、各種大会にも利用されています。今後テニスブームの再来が期待されます。
平成 26 年度利用者 24,691 人　前年対比 101.26%

4日間の集中審査

予算常任委員会

町側から平成27年度予算案の詳細説明を受け、全議員で審査しました。

スポーツ推進係が教育委員会から総務課へ所管替え

総務課

◎スポーツ関係

土屋春男　体育協会補助の減額理由は。

総務課長　教育委員会から総務課へ所管替えとなり、昨年度の決算等を勘案し、減額とした。

荻原宗夫　各種大会に出る前の練習などでかかる家庭の負担が大きいので、激励金ではなく補助金を考えては。

総務課長　今後考えたい。

◎国際交流

佐藤幹夫　研修旅費等の説明を。

総務課長　ウィスラー市制40周年に町長夫妻・議長夫妻が表敬訪問する経費である。

佐藤敏明　ウィスラーに出かける前に町民に広報すべきと考えるが。

総務課長　事前に広報等で詳細を知らせる。

◎さわやか軽井沢交流会

佐藤敏明　屋外でのアトラクションを、もう少し考えられないか。

総務課長　お子さんが多く見えることを想定したが、悪天候のため少なかったので27年度は検討したい。

マイナンバー制度に向けて

企画課

◎マイナンバー制度

袖山卓也　マイナンバー制度が10月に交付されるが、手続きは間に合うか。

企画課長　10月に国より通知があり、全町民に案内通知が届き、1月より、案内通知と写真を持参し、窓口で番号カードが付与される。

◎IT機器購入

土屋好生　広域共同でIT機器を購入しては。

企画課長　7年前から検討しているが、まだ課題が多いため実現できない。

平成27年度 一般会計予算の内訳

ウィスラー市長ご夫妻来軽
（左 ウィスラー市長　平成25年8月）

夢ふくらませう発地市庭

観光経済課

◎発地市庭建設

土屋正治　11億円もかけてうまくいかなければ失政も考えられる。借宿公民館での説明会後の対応は。

観光経済課長　色々な意見、ご指摘を検証しながら今後進めていく。施設の役割も十分認識して対応したい。

土屋正治　指定管理公募は、全国で成功している事業者にも参加を勧誘しては。

観光経済課長　公募は、全国的では収拾がつかないので、町内事業所と考える。

内堀次雄　7割を超える兼業農家が、夢をもって栽培できるシステムを作るために、アドバイザーに指導を依頼したらどうか。

観光経済課長　今後アドバイザーに入ってもらえるよう考え、農家の方が広く参加できるようにしたい。

荻原宗夫　ホテルやレストランの野菜販売予約は受け付けるのか。

また、建築資材にはランクがあるが精査したのか。

観光経済課長　町内宿泊施設からアンケート調査を行い、検討する。建築資材は、業者を交えて精査している。

土屋浄　建設資金の回収を考えているか。また、イベントスペースの利用方法は。

観光経済課長　黒字経営になるよう経営努力をしてもらう。イベントスペースは、食の祭典や、各種イベント等を行っていく。

土屋好生　指定管理に興味を持っている商工会員もいるので浸透を図ってほしい。

観光経済課長　商工会には、多く係わっていただくようお願いしたい。

◎遊休農地対策

内堀次雄　遊休農地草刈委託の場所と面積は、どのように計画しているか。

観光経済課長　農振農用地内の20ヘクタールを農業委員の協力を得て、ひどい場所を実施する。

◎鳥獣関係

荻原宗夫　鳥獣報告会があるが、予算審査の前に行えないか。

観光経済課長　次回良く検討する。

◎公衆トイレ

佐藤敏明　積雪時に公衆トイレ駐車場で車がスリップしているのを見かけるが。

観光経済課長　今後は雪かきもするよう指示したい。

県の土砂災害防止法指定

建設課

◎住宅安全対策

佐藤敏明　土砂災害防止法関係と思うが、移転の補助は何件考えているか。

建設課長　1件である。

荻原宗夫　移転事業補助の内容は。

建設課長　3つの分類があり、危険住宅の除却費（撤去費）で限度額80万2千円、移転費で建築費の利子補給として限度額319万円、土地購入費の利子補給として限度額96万円である。

袖山卓也　住宅耐震診断を受ける人は少ないと思うが何件分か。また、耐震補強工事委託料は。

建設課長　住宅耐震診断は15棟予定し、耐震補強工事補助は1棟60万円を予定している。

◎公園施設維持管理

川島さゆり　夏の観光客が来る前に草刈りをできないか。

建設課長　要望に応えて夏前にしたいが、今の予算だと回数ができないので、来年度予算について課内で検討していく。

楽しい学校生活へ

教育委員会

横須賀桃子　学校保健事業委託に先生方のメンタルヘルスは。また相談件数は。

教育次長　心の教室相談員が、受付相談に応じている。相談件数は、把握していない。

佐藤敏明　低学年補助教員とは。

教育次長　平成27年度からの新規事業で、特別支援教室へ入れない生徒で普通教室で学んでいるお子さんの支援のために配置する。

川島さゆり　中部小学校の吹奏楽部は、全国大会に行くなどレベルアップしており練習熱心で楽器も痛んできている。楽器購入補助は。

教育次長　各学校で計画的に教材備品の中で購入している。

篠原公子　特別支援教室へ配置されるデジタル教科書のタブレットは全員が持てるのか。

教育次長　教科書改訂に伴いデジタル教科書を購入する。タブレット端末は各校3台購入する。

◎図書館・文化施設

土屋好生　中軽井沢図書館は火曜日が休館日だが、休館日をなくすことはできないか。

教育次長　人員配置もあり、難しい。

佐藤幹夫　スイス公使館ワークショップは専門家が必要と考えるが、めどはたっているのか。

教育次長　深山荘の活用方法を探るべく、筑波大学の先生や関係者に検討していただいている。

佐藤敏明　旧三笠ホテル耐震診断事業の計画は。

教育次長　26年度・27年度文化庁の補助を受け、国の重要文化財である旧三笠ホテルの耐震診断を行うもので、専門の業者に委託して事業を行っている。

市村守　植物園の借地はどこから借りているのか。また、買い上げは。

教育次長　塩沢区より借りており、買い上げはしない。

◎学校関係

袖山卓也「特色ある学校づくり交付金」の各学校での取り組みは。

教育次長　各学校に10万円ずつ交付金を出している。それぞれ音楽会・講演会などの特色のある取り組みをしている。

全国レベルの中部小吹奏楽部

美味しい水の提供を

上下水道課

袖山卓也　取り換えが必要な石綿を使った給水管の残りは。

上下水道課長　残りが2012mあり、27年度に下水道工事に合わせ155m取り換える予定である。

住民の健康維持のために

軽井沢病院

市村守　人間ドックは1日に何人が利用可能か。

病院事務長　現在、1泊の利用可能人数は4人だが27年度は5名を予定している。また、日帰りドックにおいても増やす予定である。

佐藤敏明　人工透析は収入にもつながるので、増設を考えては。

病院事務長　設計上は増設も可能だが、スタッフの対応が難しい。

納税しやすいシステムに

税務課

川島さゆり　町税のコンビニ収納の見込み件数は。

税務課長　4万8000件を見込んでいる。

特定健診受診を

住民課

◎健康を守る

川島さゆり 特定健診の目標値は。

住民課長 27年度の計画数は2714人で、目標率は50%を目指す。

市村守 後期高齢者保健事業での人間ドック補助内容は。

住民課長 1泊が2万円で15人分、日帰りが1万円で10名分を見込んでいる。

川島さゆり 中部小の学童保育施設解体後の活用方法は。

財政課長 行政財産から普通財産にかえ、売却を考えている。

柳澤講次郎 マイナンバー制度が導入されるが、個人番号カードの有効期間は。

住民課長 写真入りで身分証明にもなるもので20歳以上が10年、20歳未満は5年である。

早期発見は人間ドックで

家族介護の負担軽減を

保健福祉課

内堀次雄 家族介護慰労金の支給を受けるには、申請が必要か。

保健福祉課長 要介護4・5の認定者で介護サービス等を利用していない方の家族から申請が必要となるが、該当者がいない。

住みやすい町づくりを

生活環境課

内堀次雄 町内循環バス運行の予算が26年度と全く同じだが利用者も増えていると思うが増便は。

生活環境課長 利用者は、多少増えているが比例して燃料費等が高騰した。27年度は時間帯の設定、バス停の位置等、利便性の向上に努めたい。

市村守 グリーンベルト設置の距離は。

生活環境課長 0.9m幅で1500mを予定している。

佐藤敏明 カーブミラー設置を10基とあるが足りるのか。

生活環境課長 要望と合わせ危険個所に設置している。年間10基程度の新設で足りている。壊れたものについては修繕費で対応している。

内堀次雄 老朽危険建物審査委員会が立ち上がるがメンバー構成と委員会の開催日数は。

生活環境課長 建築士、警察、消防、区関係者など10名以内を予定している。開催日数については未定である。

佐藤敏明 5年間でのぼり旗ゼロを目指すというが、もっと厳しく条例等をつくれないか。

生活環境課長 研究はしているが、条例による拘束だけでは難しいと考える。自然保護対策要綱に沿って対応する。

より安全のために

多くの意見や質問がありましたが、紙面の都合上、要約して載せてあります。

代表質問全項目掲載

2期目の藤巻町政の取り組みは

政策集団シリアス　代表
袖山卓也

町長

軽井沢町の可能性を最大限に引き出して行く

地域創生の取り組みは

政府は、人口減少や超高齢化の課題に対し、減少に歯止めをかけるためにまち・ひと・仕事づくりの地方創生に取り組むよう地方自治体に求めている。

問　町の望ましい人口は。

町長　人口推計では平成34年に2万1000人としている。現時点では、この人口数が適当と考えている。

問　地域間競争に打ち勝つには。

町長　豊かな自然と良質な別荘文化を守り、健康で安心して生活ができる町づくりを目指すことである。

問　子どもの歓声が聞こえる町は。

町長　出産・子育て支援は、これからも進めていく。多世代同居にも取り組んでいく。

問　雇用を増やす町の産業政策は。

町長　観光業を主体として商工業の振興、直売所、6次産業、会議都市の推進、リゾートウエディングの支援をしていく。

グランドデザインの最終報告

問　グランドデザインには、軽井沢の風土が大事であるとしているが、風土とは。

町長　地域の自然環境などに住む人の暮らしや、思いが歴史に加わり形成されるものである。

問　望ましい軽井沢の実現は。

町長　22世紀風土フォーラムの中で研究し、未来に向かって住民と行政が総がかりで町を造っていく。

軽井沢町グランドデザイン

画：イマイ　カツミ

町における浅間山とは

問　「浅間高原の町・軽井沢」と言われてきた。浅間山あるいは浅間高原のまち・軽井沢を強調し売り出すべきと思うが。

町長　浅間山は、町の象徴としてパンフレット類で紹介している。

問　登山者への対策は。

町長　現在は、火口から4キロメートル以内は登れない。噴火警戒レベル3までは、登山者の防災対策は確立している。

議案になる前に議会への説明を

問　住民の考えや意見を反映しやすくするために、早めの説明は。

町長　条例は、様々な過程を経て提案される。提案前にタイミングをみて全員協議会で意見を聞きたい。

代表質問とは

議会内で、所属する政党や同じ主義・主張を持った3人以上が交渉会派を組みその会派の代表が3月の定例会で町長の施政方針等に対する質問を行うこと。

代表質問全項目掲載

町長２期目の財政計画は

町　長

行政改革により健全な財政運営を目指す

会派「考」　代表
市　村　　守

問　今後４年間の財政計画は。

町長　適切な事業選択と計画的な基金積立により、基金総額を平成30年度には40億円程度を維持できるよう努めたい。起債は、発行額等の抑制に努め、現在約97億円が４年後には75億円ほどとなる。

問　老朽危険建物対策は。

町長　老朽危険建物対策要綱を４月１日付けで施行し対応する。

問　軽井沢町グランドデザイン構想を具現化するための事業は。

町長　住民と町のパイプ役にもなりえる、22世紀風土フォーラムを立ち上げ、組織や運営方法などを検討する。

問　観光の振興、農業と商工業との連携を図る方策として、農産物直売所を拠点とする考えは。

町長　発地市庭（いちば）と風越公園施設の相互利用や、周辺の農業関連施設での体験、見学など新たな観光コースを構築し、観光振興、農業と商工業の連携を深めていきたい。

問　観光経済課の体制の見直しは。

町長　観光と農業の連携を図るため、観光経済課として事業を実施してきた。観光振興センターと発地市庭の運営等の進捗状況を見ながら慎重に研究し検討を重ねたい。

問　こぶし教育で、特別支援学校に在籍する児童生徒に対しての係わりは。

町長　副学籍要綱により、運動会や文化祭、水泳授業等で、交流を行っている。今後も共に学ぶことができる体制の充実を図っていく。

問　一時保育で、当日の申込みや、短時間のあずかりはできないか。また、保育士不足の解消策は。

町長　可能な限り努力している。保育士不足解消のため、職員定数の増員、賃金の増額、大学訪問等も実施している。補助員の設置等、新たな方策も研究したい。

期待される子育て支援

一般質問全項目掲載

返済不要の奨学金制度の創設はできないか

土屋　浄

教育次長

調査研究をしたい

独自で返済不要の奨学金制度の創設は

問　大学進学者への奨学金、それも返済不要の給付型の制度を創設してはどうか。リーマンショック以降経済的理由で進学をあきらめる例、奨学金が返済できないで困っているケースが増えている。国の奨学金は貸与型だが、これを取り扱う日本学生支援機構は返済を求めて毎年6000件もの裁判を起こしている。県は全国に先駆けて給付制の奨学金制度を創設した。町も考えられないか。

教育次長　事業の妥当性も含め調査研究をしたい。

家計を温める施策こそ

問　共産党が実施した町民アンケート（集約中）では、アベノミクスで暮らし向きが「悪くなった」との回答が8割をこえている。住宅リフォーム補助のような家計を温める施策がさらに必要と考えるが。

町長　アベノミクスは確実に地方を潤すと考える。観光による外貨獲得と内需拡大を進めていきたい。

医療費無料化を高校卒まで拡充を

問　医療費の無料化を高校卒まで拡充する点で財政豊かな軽井沢町が遅れをとっていてはいけない。現行の中学卒までから高校卒までに拡充する考えは。

住民課長　県内全23町のうち18歳到達後3月31日まで無料としているのは13町、中学卒業までとしているのは当町含め9町ある。町は子育て支援策として本件も含め検討している。

給付制奨学金でこの子らにのびのびと学ばせたい

一般質問全項目掲載

誰もが安心できる マイナンバー制度に

総務課長

総務課中心に各課で相談体制をとる

川島 さゆり

マイナンバー制度

問 マイナンバー制度とは。

総務課長 税と社会保障に関する事務処理の効率化と、より良い住民サービス提供。本人確認のためのICチップ付き個人番号カードで全国民が身分証明として使える。

問 導入スケジュールは。

総務課長 平成27年10月に番号付番が開始され通知カードの送付、平成28年1月に個人番号カードの交付、平成29年1月に国との情報連携が開始され、7月地方公共団体の情報連携が予定されている。

問 企業・行政の情報漏洩や流出が心配されるが、職員研修の実施、悪用や不正利用等の罰則は。

総務課長 今年度個人番号に関する研修を多くの職員が受講し、知識の習得、意識レベルの向上を図っている。罰則は、原則個人情報保護法の適用だが、番号法は、より厳しく法定刑も重い。

問 町民への周知、特に高齢者への電話相談窓口や出前講座の考えは。

総務課長 広報紙、インターネットで周知する。各種団体と協議を重ね機会があれば出向いて周知する。

早くコンビニ交付ができれば

問 コンビニで住民票や所得証明等、証明書類発行を可能にした住民サービスができないか。

企画課長 国の補助要綱が変更されたため今は検討段階である。

地方版総合戦略策定は

問 地方創生人材支援制度の活用の考えは。

企画課長 支援窓口である地方創生コンシェルジュの専任希望は提出した。

問 消費喚起効果の高いプレミアム付き商品券の考えは。

観光経済課長 町商工会で町内経済活性化のためにプレミアム付き商品券を発行する。1000円の商品券12枚1万2000円分を1万円で販売する。

一般質問全項目掲載

子ども達がボランティア活動できる環境づくりを

横須賀 桃子

町 長

行政や教育委員会ができる範囲で進めていきたい

ボランティアで大きな教育効果を

問 町長は子ども達に必要な教育は知識だけでなく自分で考える力とコミュニケーション能力であり、そのためには踏み込んだ検討や施策が必要であると言っている。私は、ボランティア活動こそがその答であると考えるが、魅力をどう考えているか。

教育次長 一人でも仲間とでも参加できる活動であり、人のために活動すると喜んでくれる人がいることを体験を通して理解できることにある。

問 子ども達が参加できる活動は。

教育次長 小・中学校では大槌町への支援や軽井沢ふれあい祭り・大槌支援コンサートの手伝いなどがある。

問 学校活動以外でも「ぷれジョブ」といった支援の必要な子ども達と地域住民が連携して行うすばらしい活動などもあるが、あまり知られていない事からもボランティアに対する意識調査が必要であると思うが実施しているか。

教育次長 行っていない。

問 総合の時間を利用して学校活動以外に実施されているボランティア活動を紹介しては。

教育次長 積極的に総合学習で取り上げる試みは、今後学校と協議して進めたい。

問 ボランティア活動に興味を持った時の窓口は。

教育次長 学級担任が窓口になりボランティア団体へとつなげる。

問 小・中学生を含めて、今年度は何人から問い合わせがあったか。

教育次長 具体的な件数は把握していない。

問 身近ではないからこそ紹介していく事が大切であり、環境づくりを町独自で考える必要があると思うが。

町長 行政や教育委員会ができる範囲で進めていきたいと考える。

教育長 信州型コミュニティースクールの軽井沢版の中でボランティア活動にも取り組みたい。

養護ホームでお話ボランティアをする子ども達

一般質問全項目掲載

「温泉施設等利用券」スカップ軽井沢での利用を

大浦洋介

保健福祉課長

スカップ軽井沢等風越公園内の各施設に限って利用できるよう順次拡大を図っていく

問 「温泉施設・町内循環バス利用券」の利用率は77%ということだが、利用率を一層高めるためにも、プールを始め様々な健康増進機器を備えるスカップ軽井沢でも利用できるようにしてはどうか。

保健福祉課長 スカップ軽井沢を始め、風越公園内の各施設に限って利用できるように、順次拡大を図っていく。

病院医師等の安定的な確保策を

問 病院事業の優先課題として、病院医師の確保はどの程度の優先順位になっているのか。

病院事務長 最重要の課題と考えている。

問 過日病院側から「医師の確保は町内の子どもの中から先行確保するのが現実的で望ましい。議会も尽力してほしい」との要望があった。医師の確保を目的とした奨学金制度を創設できないか。

病院事務長 病院事業では、財政的に奨学金を出して医師を確保することは難しい。

利用拡大が望まれるスカップ軽井沢

訪問看護ステーションの改善・拡充を

問 訪問看護ステーションの看護師は1年365日、それも24時間体制の過酷なスケジュールで職務を遂行している。改善を図っていかなければならないとの認識はあるか。

病院事務長 27年度から正職員を1名増やして2名体制とする。車両についても1台増やして今以上の運営体制を整えていく。

問 訪問看護ステーションは、規模が大きいほど収支の状況が良いとの調査報告がある。今のオンコール※体制を改善する上でも、規模を拡大・拡充していく考えはあるか。

病院事務長 今後利用患者が増えた場合、そのような体制を整えていく。

※オンコール体制とは
医師をはじめ、医療従事者が患者の急変時や、救急搬送時に勤務時間外でも呼ばれればいつでも対応できるように待機していること。

一般質問全項目掲載

森林・里山の整備は町の公共事業として積極的に出来ないか

内堀次雄

町長

森林の持つ多面的な機能をそれぞれの箇所で必要に応じて整備していく

問 長期振興計画の中で森林・里山について適正な環境保持と森の恵みの有効利用や自然とふれあう環境づくりを進めるとしているが、平成27年度の整備計画は。また、平成23年策定の森林整備計画に基づいた事業の進捗状況は。

観光経済課長 森林税を活用した森林づくり推進支援金事業で民有林の間伐を中心として、約23ヘクタールの整備を予定している。間伐材の整備は所有者の協力を得て年次計画により事業を進めている。また登山道整備や森林とのふれあいの場を提供するための整備を毎年実施しているほかボランティア団体の森林整備事業に協力をしている。

問 森林からの恵みは森林の所有者だけでなく全ての住民が享受している。積極的に税金投入して町の公共事業として里山整備をする必要があると思うが。

観光経済課長 森林の持つ多面的な機能の中で、利用する森、保全する森などそれぞれの箇所で必要に応じて整備をしていく。

問 自然とふれあう環境づくりのために森林管理署との協定締結による「遊々の森」や「ふれあいの森」として整備する考えはないか。

観光経済課長 国設軽井沢野鳥の森、軽井沢レクリエーションの森や、千ケ滝せせらぎの道、信濃路自然歩道等のように国有林との調整により森林、高原の自然環境を一体的に整備していく必要がある。

教育次長 遊々の森については現在考えていない。

問 薪ストーブより扱いの楽なペレットストーブの普及に積極的に努め、ペレットを安価で提供するため小規模ペレット工場の検討をしたらどうか。

観光経済課長 現在ペレットストーブ購入補助を交付しているが、今後も民間業者とも情報交換をしながら普及推進を図っていきたい。小規模ペレット工場については広域的な観点からの研究が必要と考える。

手入れの行き届いた里山

一般質問全項目掲載

議員・区長・各種審議委員等の報酬増額を

総務課長

現段階で審議会を開催し報酬の増額は難しい

荻原宗夫

議員に出やすい環境へ

問　議会は8年前に議員数を16名に削減した。18年前の議員報酬の総額は、1億470万円であったが現在704万円でその差は340万円である。これは議会自らの責任において歳出削減をしてきた結果である。また、一般会計予算にしても東御市、千曲市と同等であり、小諸市の10%減ぐらいである。市なみの予算規模で運営されており、さらに、議員の活動日数も年間120日以上である。若手の議員の出やすい環境のためにも、増額を考える時期かと思うが。

総務課長　議員の報酬は地方自治法で定められており、軽井沢町特別職報酬審議会条例では、議員報酬等の改定については、審議会の意見を聞く事と規定されており、現在の社会情勢では難しいと考える。

区長・審議会等委員の報酬の増額は

問　多様化した社会情勢や自主防災組織を立ち上げその活動範囲は広がる一方である。やはり、増額すべきと思うが。

総務課長　近隣市町と比較して特段低いとは言えず、当面は現在のままと考えている。

課長級の給与も年々下降気味だが

問　課長の持っている責任の重さは計り知れないものがある。人事院勧告で決まる事は承知しているが改善を望む。

総務課長　職員のモチベーションの低下が懸念されるが、人事評価制度の勤務成績を給与等に反映することで、公務員力の維持向上を計りたい。

第2アリーナの建設を

問　アリーナでのスポーツはアイスホッケー・フィギュアスケート・ショートトラックスケート等がある。これらの競技がリンクを確保するのに苦労している。第2アリーナの建設を望む。

建設課長　現在の状況下では難しい。

問　軽井沢中学校の改築で、今の財政状況は承知している。これら大型事業終了後に考えては。

建設課長　財源のめどが立つ時期がきたら考える。

教育行政はどう変わるか

総務常任委員会

委員会での主な審査内容（質疑）

風致地区内における建築等の規制

市村守　県から町へ規制の権限が委譲され、事務量が増えるが、メリットはあるか。

建設課長　自然保護対策要綱で指導していたが、今後は条例で規制できる。

荻原宗夫　申請等への回答が早くなるのか。

建設課長　許可は多少スムーズになる。

特別職の職員で常勤の者等の給与

市村守　教育委員長と教育長が一本化されるが、体制はどうなるか。

教育次長　4名の教育委員と新教育長で5名体制となる。

行政手続条例

荻原宗夫　行政手続きの違反をしたり、発見した場合の申し出等についての改正であるが、町民にもわかり易く説明する方策はあるのか。

総務課長　第3者から行政庁と事業者の間で行っている行為に対して、違反があるのではないかと指摘された場合には、行政が調査をして、法令等に基づいて行っていることを説明して了解をとる。間違えがあれば是正を求めるというもので、誰もが指摘できる。

土地の取得

内堀次雄　町道借宿バイパス線の取得の残りはどのくらいあるか。

建設課長　2件である。

その他（行政側から）

観光経済課長　発地市庭（いちば）は、通年利用が可能な建物を設計し、建設に向けて計画を進めている。通年営業を目標にしているが、冬場の状況も分からず管理者が初めて運営を行うため、必ずしも通年営業という考えでなく、今後5年間の指定管理の間には、冬期の営業ができるようにと考えている。

その他（委員から）

内堀次雄　停電時に、メール配信ができなかったことについてどのように考えているか。

消防課長　教訓にして複数の方法を検討していきたい。

企画課長　防災専用のパソコンを導入し、発電機、充電器等での対応を考えている。

当委員会では、規約の変更1件、条例の制定1件、条例の全部改正1件、条例の一部改正4件、変更協定1件、土地の取得1件の計9件について審査を行い、いずれの議案も原案可決との報告を致しました。

社会常任委員会

「発地市庭（いちば）」通年営業目標に！

委員会での主な審査内容（質疑）

（標準）保育時間の変更

土屋春男　保育時間が延びるが、職員の負担は大きくならないか。

住民課長　職員を補充しなければならないと思う。

川島さゆり　西保育園の園児は増えているが、現行の職員で対応できているのか。

住民課長　対応できている。

土屋浄　延長保育は臨時保育士を充てるのか。

住民課長　シフト制で正規保育士と臨時保育士を充てる。

土屋浄　仕事の依頼がある保育士とない保育士がいると聞くが。

住民課長　登録保育士の希望時間等を考慮して依頼している。

柳澤講次郎　所得の多い人の保育料はもっと上げてもいいのではないか。

住民課長　今後考えたい。

介護保険料の引き上げ

土屋春男　介護保険料の引き上げで、運営は良くなるのか。

保健福祉課長　保険料引き上げは、現状を維持していくためのものである。

柳澤講次郎　所得の多い人の保険料はもっと上げてもいいのではないか。

保健福祉課長　今後の課題として検討する。

土屋浄　今回の改正案では随分保険料が上がるが、一般会計から繰り入れはできないのか。

保健福祉課長　基金の積み立てから繰り入れる。具体的には、28年度に2000万円を繰り入れる予定。

なお、介護保険料の改正に関する議案は、6対1で可決。

その他（委員から）

発地市庭の通年営業は

土屋正治　町長はこれまで通年営業すると言ってきた。最近は直売所運営検討委員会からの報告も途絶えているが、指定管理者はどうなっているのか。

観光経済課長　これから公募する。

土屋春男　売り上げ予定額等を示した企画書がないため、農業関係者をはじめ多くの町民が不安を抱いているが。

観光経済課長　販売単価等については指定管理者が生産者と調整する中で決められていく。これからホテル宿泊者へのアンケート調査などを行う中で企画書等を作成していく。

土屋浄　指定管理者に任せるのではなく、町主導でやるべきではないか。

町長　指定管理者だけに委ねるのではなく、相互にアイデアを持ち寄った中で進めていくのがいい。野菜だけでなく海産物なども考えなければならない。

当委員会では、条例の制定1件、条例の一部改正3件、条例の廃止1件の計5件の議案について審査を行い、いずれの議案も原案可決との報告を致しました。

発地市庭のイメージ図

町づくりのために

◆3月定例会議（2月26日から3月17日までの20日間で開催）

議案33件を原案の通り可決しました。発委（委員会提案）4件を可決、人事案件1件を同意し、報告2件を受けました。

議案（主なもの）

条例の制定

◎子どものための教育・保育給付に係る利用者負担額を定める条例

そこが聞きたい

荻原宗夫 保育料と延長の説明を。

住民課長 保育料を引き下げ、働くご家庭の支援をするために長時間保育を行う。

◎風致地区内における建築等の規制に関する条例

そこが聞きたい

佐藤敏明 建築がしづらい地域の見直しは。

建設課長 今回の制定は、県条例から町条例への変更であり、見直しの考えはない。

条例の全部改正

◎教育委員会教育長の勤務時間その他の勤務条件に関する条例

・国の法改正により、教育委員長と教育長を一本化した責任者（新教育長）が設置される改正等です。

条例の一部改正

◎一般職の職員の給与に関する条例

・昨年12月に0.27%増額した給与が4月より0.32%減額される改正です。

◎行政手続条例

・行政指導の中止等を求めること及び処分等を求めることができる改正です。

そこが聞きたい

大林義博 自然保護対策要綱のお願い事項は法律または条例・法令に当てはまるか。

総務課長 条例や法令等には該当しない要綱である。

◎福祉に関する条例

・福祉医療支給対象者の障がい者18歳未満本人及び扶養義務者等の所得制限を設けない改正です。

◎介護保険条例

・所得区分が現行の8段階から10段階へ変更する条例です。

そこが聞きたい

荻原宗夫 介護保険料は上がるのか。

保健福祉課長 前回対比11.6%増で500円上がる。

広聴部門の強化へ

議会関係条例の一部改正

◎議会委員会条例

・広報広聴常任委員を2人増員する改正です。

◎議会基本条例

・議会議員活動ができなくなった場合、議員報酬の減額を行う規定の追加です。

◎議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例

・議会基本条例の一部改正に伴い、議員報酬等の減額規定の追加です。

決まりました よりよい

変更協定の締結

◎社会資本整備総合交付金事業新幹線跨線橋耐震補強工事委託に関する第2回変更協定

・2週間の工期短縮及び工事見直し等により571万4000円の減額です。

土地の取得

◎町道I-37号線道路用地取得

1億35万4000円

・町道借宿バイパス線新設改良事業のための土地取得です。

そこが聞きたい

荻原宗夫 借宿バイパスの土地取得は終了したのか。

建設課長 残りの用地においては、交渉を進め用地の取得に向かっている。

補正予算（主なもの）

◎平成26年度一般会計補正予算（第9号）

2500万円を減額し、

総額149億420万円

そこが聞きたい

内堀次雄 遊休農地草刈委託200万円減額の理由は。

観光経済課長 申請が少なく、また予定よりも安く契約ができたためである。

内堀次雄 農業委員会との連携を積極的に取り組んではどうか。

観光経済課長 農業委員会に遊休農地の草刈り事業があることを周知するよう伝えた。

市村守 子育て世帯臨時特例給付金の減額理由は。

総務課長 25年度の対象数値から推計し2400人を見込んだが、実績が2100人だったので減額した。

子育て支援の充実を

◎平成26年度一般会計補正予算（第10号）

24億6592万円を追加し、

総額173億7012万円

・債務負担行為補正45億円を20億6000万円に減額。

・地方債補正1億円を12億5500万円に増額

・軽井沢プレミアム商品券1130万円

◎平成27年度一般会計補正予算（第1号）、24億4013万円を減額し総額を144億3987万円とする。

・国の補助金が26年度中に交付されるための減額です。

◆4月第1回会議（4月7日開催）

風越公園整備事業特別委員会の報告をし解散について承認されました。

「社会資本整備総合交付金」を利用し、風越公園一体の整備が行われてきました。

風越公園整備事業特別委員会として、事業を見守ってきましたが、平成26年度をもって事業が完了したので、現地視察を行い報告書を提出し、解散について承認されました。

子育て支援センターへリニューアル

ありがとう!!中軽井沢南児童館!!

たくさんの子ども達がここから育ちました

中軽井沢区の農協通りにあった児童館が、中部小学校敷地内に移り中地区児童館となり、放課後子ども教室も運営されます。旧中軽井沢南児童館は子育て支援センターとなります。両施設とも4月1日から利用してます。

最後に感謝をこめてピカピカにお掃除！

最後のお楽しみ会。地域の方がサンタクロースに

中軽井沢南児童館での最後のお楽しみ会ということで、中部小学校の太鼓クラブと吹奏楽部の皆さん、民生委員のウサギとカメの朗読劇、母親クラブ役員のハンドベル演奏などもありました。
最後は、サンタさんが登場して、プレゼントを届けてくれました。

夏祭り。すごく楽しかった

夏祭りでは、わたあめ・フランクフルトなどの食べ物コーナーや、まとあて・たからつりなどの遊びコーナーに大勢の皆さんが参加してくれました。

藤の花の下でみんなでお花見

幼児のつどい おやつは、藤棚の下でお花見をしながら食べました。

編集後記

3月議会は町の骨格をなす、大切な予算審議をする会議です。

当議会は、4日間に渡り集中的に、各課係長以上の出席を求め、細部にわたり説明を受け審査をしました。議会は責任をもって議決したことを報告します。

4月29日をもって現議員の任期が満了となります。次号からは、新しい委員により編集することとなりますが、引き続きご愛読いただければと思います。

（荻原）

議長　篠原　公子
委員長　荻原　宗夫
副委員長　土屋　好生
委員　横須賀桃子
川島さゆり
佐藤　敏明
大林　義博

－発行－
平成27年4月20日
長野県北佐久郡軽井沢町
軽井沢町議会
〒389-0192
☎0267（45）8910
－編集－
広報広聴常任委員会
－印刷－
有限会社東城印刷
☎0267（45）1710